ヨーロッパの
CO2排出量削減に
ヒートポンプ技術で
貢献していきます。

日本をはじめ多くの国と地域が、2050年までにCO2排出量を
実質ゼロにすると宣言しています。
そのひとつ、ヨーロッパでは、
主流である燃焼式の暖房・給湯が大きな課題です。

石油やガスによる燃焼方式では多くのCO2を排出します。
その解決策として期待を集めるのは、燃焼させて熱を生む代わりに、
空気中にある熱を集めて水や空気を温めるヒートポンプ式暖房。

ダイキンは、環境技術としてのヒートポンプの重要性を伝え続け、
従来のヒートポンプ式暖房が苦手として来た寒さが厳しい地域でも、
十分パワーを発揮する製品を多数開発。
CO2排出量実質ゼロの達成に貢献していきます。

空気で答えを出す会社 DAIKIN